

第6回 『一緒に囲む楽しい食卓』の巻

今日は、娘の百合子さんと孫の理恵さんが遊びに来ました。ヨシ子さんは理恵さんの大好きなカレーライスをつくらうとはりきって台所に立ちました。しかし、なかなか料理をつくり始めることができません。見かねた百合子さんは、ヨシ子さんに声をかけました。

【解説】

例①では百合子さんはヨシ子さんの役割を全て奪ってしまい、ヨシ子さんはしょんぼりしてしまいました。

例②では百合子さんはヨシ子さんの役割を全て奪うのではなく、昔話をしながら一緒にカレーライスをつくりました。そして孫の理恵さんはヨシ子さんに『ありがとう』と言っています。

皆さんはどちらの対応が良いと思いますか？

役割を奪わず、必要な手助けを行うことで、ヨシ子さんの自尊心を傷つけず、達成感を得ることができました。また役割は脳に緊張感を与え、活性化にもつながります。役割をとりあげられ、家族の中で役に立たないものとしての存在感よりも、役割を持つことで家族の一員として生きている存在感がどんな効果をもたらすかは言うまでもありません。

できることなら例②のように感謝の言葉をかけ、一緒に喜びあえるといいですね。

例 ②



例 ①



理恵 (20歳)

